ぎでんだより かわらばん

発 行 所
岐阜県電気工事業工業組合
㈱岐阜県電気工事協力会
〒500−8814 岐阜市今川町2の26の3
電話 058 263−2207 FAX 058−265−8755

年頭所感

岐阜県電気工事業工業組合
理事長 森 輝廣

新年あけましておめでとうございます。
皆様にはおそろいでお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

我が国経済は、緩やかな回復で輸出や生産は持ち直し、好調な企業収益となり、雇用や所得環境も改善傾向にあり、個人消費や民間企業の設備投資など国内需要も持ち直し、経済は軌道に乗っていましたが、年初からの新型コロナウイルス感染が甚大な被害を引き起こし、特に岐阜市内で複数のクラスターが発生して患者が急増、岐阜県でも県独自の非常事態宣言が発令され家計や企業の経済活動は急速に縮小し景気が大幅に失速しました。
また、7月の豪雨で中濃から飛騨地方を中心にインフラや住宅に甚大な被害が発生しました。
当業界についても、コロナ禍や豪雨被害による仕事の遅延や中止の影響等先行きの見えない状況にあり、早期の鎮静化を願っています。

さて、当業界の働き方改革ですが、新型コロナウイルスの影響もあって、社会全体で働き方が見直され始め、Withコロナの状況は当分続くことが予想され感染拡大防止のため生産性の向上を図る必要があります。ムダな会議の取りやめ、社内資料の整理整頓、業務の標準化・マニュアル化、業務分担の適正化などが考えられます。
近年、当業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、現状としては、後継者・人手不足問題が挙げられます。後継者・人手不足問題ですが、技術者・技能者の不足が顕著になってきており、次代を支える人材の確保と育成が最大の課題となっています。

昨年も、中濃支部がインターンシップと東濃支部が出前授業を行い、電気工事業の魅力等を伝えました。引続き、青年部による業界の紹介を行い将来の人材確保のためにも、今後とも教育機関との交流を深めていきたいと思っています。

私どもの業界はライフラインの一端を担い、日常生活はもとより産業発展の基礎を支えるものと自覚し、また、街の電気ドクターとして適正・確実な工事施工をすることにより電気の保安を確保し、お客さまに安全・安心して電気をお使いいただけるように努めてまいります。
本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

新年に寄せて

㈱岐阜県電気工事協力会
代表取締役社長　髙橋　勤

新年あけましておめでとうございます。
皆様にはお揃いで健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

我々、岐阜県電気工事協力会は、国民生活や経済活動の重要なインフラを支える電気を、中部電力パワーグリッド株式会社様と協力して、お客さまへ安全・安心にお届けすることを変わらぬ使命として本年も活動していきたいと考えておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により生活が一変しました。人が多く集まる会合や会食は制限され、感染者の多い地域から少ない地域への移動を嫌がられるなど自粛ムードも大きくなり、これまで当たり前に実施していたことが、当たり前にはできなくなっていきました。業務においても、お客さまとの対面での会話などは避けられる傾向で、住宅着工や工場の設備投資なども控えられたことから、引込線の新増設工事についても減少することとなり、我々の業務にも大きな影響が出ることとなりました。このような状況の中でも業務を遂行できたのは、まずもって皆さま方が健康管理と安全に十分に配慮いただき業務を実施いただいたことが大きな成果となっていると感謝しております。もう一点は、景気の動向に左右されにくい改修工事を緊急的に発注いただけたことが業績への影響を少なく抑えることができた要因ではないかと思っております。これは、昨年までに専任班体制を充実させられたことが改修工事を実施できる体制整備へと繋がり、昨年のコロナ禍でも大きな力となって成果を出すことができた表れだと感じており、改めて関係する皆さまに感謝をしております。

私は常々、仕事の幅を広げ、仕事量を増やすことを目標に、各地区センターの技術力を向上させていくことをお願いしておりますが、昨年は、一部のセンターを皮切りに、高圧計器業務の新増設工事を新規に受託いたしました。今年は、全地区のセンターへ拡大し、業務量を増加させていきたいと考えておりますので、技術力の向上が図れるよう講習や教育を実施いただき、安全に新規業務が実施できる体制を構築していただくことをお願いいたします。また、安全面におきましては、フルハーネス型墜落制止用器具の本格導入を今年中に実施することになります。法令教育とともに、昇柱作業に関する講習を確実に実施いただくことで、より安全な作業環境が整えられるよう努力して参りますのでご協力をお願いいたします。

最後になりますが、今年も安全を最優先に無事故で一年が過ごせるよう皆さんと共に頑張りたいと思います。

新年を迎えて

岐阜県電気工事業工業組合
青年部会長　堀江 典之

新年明けましておめでとうございます。

まず今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により、尊い命を落とされた方々のご冥福をお祈りするとともにご遺族の皆様に衷心よりお悔みを申しあげます。また、罹患され現在も病気と闘っている方々の一日も早い回復をお祈り致します。

世界的に拡大したこの感染症は、あらゆる国と産業にこれまで経験したことのない甚大な負の影響を及ぼし、その大きさはどこまで拡大するのか見通せません。そして人々の生活には、経済の悪化や景気の大幅な後退に伴う底知れぬ将来不安が暗い影を落としています。

言うまでもなくお客様はもとより各社従業員の命と健康を守ることは何よりも重要です。一方で、経済が止まることで生活や命さえも奪われていくという現実のなかで、今後は段階的に経済活動を拡大し、新たなステージへの企業づくりに向け歩みを進めていかなければなりません。もともと令和2年は変化が始まり進む時代であったことは間違いのないことでありましたが、令和3年もそこにコロナ禍が加わり変化することが出来る出来ないではなく、半ば強制的に仕向けられながらも、これを前向きに受け入れることこそ肝要なことだと強く感じております。

私ども青年部でも、五県交流会の延期、技能競技全国大会の中止、その他、余儀なく活動を中止させられ、例年同様の活動は出来ず私たち一人一人が「新しい生活様式」をどのように捉えどう向き合っていくのかが問われています。その中で中津川工業では出前授業、関商工ではインターンシップ事業、OKBぎふ清流アリーナではコロナ対策を行い小学生や中学生を対象の職業体験のキッズタウンが開催されました。そして岐阜支部では2回目となる出前授業を行う予定と、少しづつではありますが各所それぞれどうにか活動をしようと模索中です。

この難局を耐え、生き残り、将来に向けて持続可能な電気業界としての業態価値再創造を実現していかなければなりません。会員の皆様と、共に現下の労苦を受け止め乗り越えることで、将来の成長と繁栄を分かち合って参りたいと存じます。引き続きのご支援とご協力賜りますよう、切にお願い申し上げる次第です。

新年を迎えて

中部電力パワーグリッド株式会社
岐阜支社長　樋口 一成

新年あけましておめでとうございます。株式会社岐阜県電気工事協力会ならびに、岐阜県電気工事業工業組合の皆さまにおかれましては、健やかでよい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、旧年中は、弊社の事業に際しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた一年でありました。年初に海外で発生したウイルスが瞬く間に世界を駆け巡り、4月には国から緊急事態宣言が発出され、様々な活動が制限や自粛を余儀なくされました。5月に緊急事態宣言は解除されたものの、感染の波は未だ収まることがなく、第三波にまで至っております。このような状況の中でも、皆さまにはエッセンシャルワーカーとしての使命を果たしていただき、重要なライフラインである電気をお客さまへ届け続けていただいていることに心から感謝申し上げます。

中部電力グループは4月に分社化し、送配電事業を担う我々の会社は、中部電力パワーグリッド株式会社として新たな船出をいたしました。新たな会社のブランド力を高めるうえでも、事業の基盤である安全、品質、コンプライアンスにしっかりと取り組んでいくことが重要だと考えております。そのような中で、安全に関する現状を振り返りますと、当社においては、高圧線での感電事象や、倒木除去作業において樹木に挟まれ死亡する重大災害が発生しております。また、請負工事においては、梯子とともに転落し重傷を負う災害や高所作業車のバケットから転落する事故が発生しており大変憂慮すべき状態にあると言えます。二度と同じような災害にあう仲間が出ないよう、皆さまと一緒になって安全を最優先できる文化の醸成に全力をあげて取り組んでまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本年の干支は辛丑（かのとうし）で、一般的には、辛く大変な出来事を乗り越え結びつきが強くなる年とされています。新型コロナウイルスというこれまでに経験がない出来事もワクチンの開発により少しではありますが光が見えてきております。また、在宅ワークやリモート会議など、難しいと思われていた新しい働き方も急激な勢いで導入が進められています。これまでの考え方や実施方法に縛られない新たな発想で物事が進められることを良い方向に捉えて、皆さまと共に知恵を出し合って業務を進めていきたいと考えております。皆さまからも変えた方が良いことや世の中の感覚との違いなどを感じられた際は、ご意見をいただき、この困難な状況を結びつきの強さによって乗り越えていきたいと思いますので、本年もご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆々さまにおかれましては、本年が安全で、益々ご繁栄されますことを祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

岐阜支部　第一種･第二種電気工事士受験準備講習会（実技）

11月21日（土）、22日（日）に第一種電気工事士、11月28日（土）、29日（日）に第二種電気工事士の受験準備実技講習を行いました。
第一種には10名、第二種には14名の受講者が参加し、それぞれ二日間じっくりと課題に取り組んでいました。
今回は新型コロナウィルスの感染症拡大防止のため、検温や消毒、マスクの着用などの対策を講じての実施となりましたが、大きな混乱もなく、全日程を終えることができました。

なお、来年度も電気工事士受験準備講習会を予定しております。
興味のある方は岐阜県電気工事業工業組合岐阜支部までご連絡ください。
Tel:058－263－6010

第一種電気工事士受験準備講習会　　第二種電気工事士受検準備講習会

岐阜支部 『岐阜市庁舎建設工事の内電気設備工事』の事業者向け現場見学会

11月24日（火）、25日（水）に行われました「岐阜市庁舎建設工事の内電気設備工事」の事業者向け現場見学会に延べ18名が参加しました。

西濃センター　直営班安全パトロール（高圧）実施

西濃では初めてとなる高圧(VCT取付)工事の為、8月21日(金)と11月18日(水)に 直営班安全パトロールを実施しました。
2日間とも晴天に恵まれ、センター役員・中部電力PG㈱検査員に御協力いただき、的確な手順で安全に作業する事が出来ました。

【8月21日 実施】

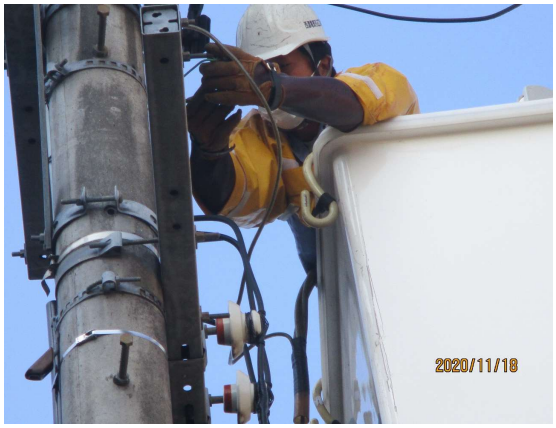
防具を装着し、検電実施
及びＳＯＧにアースフックを取付

狭い場所の為、キュービクルを
傷つけないように養生し、ＶＣＴを搬入

検査者と作業者にて検査項目をチェック
作業終了

【11月18日実施】

ＴＢＭ－ＫＹを実施
作業手順等の確認



防具を装着し、検電実施
及びＳＯＧにアースフックを取付

落下防止ネットを取付
落下物に注意しながらＶＣＴを搬入